

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■平成26年度第1回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

・下水処理場の既存施設能力を活用した汚水処理システムの効率化に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、汚水処理サービスと都市計画との関連性も考慮して、下水道や都市等の各部局間の連携に留意しつつ、施設整備のタイムスパンと社会構造変化との整合など、長期的な視点を持って研究を進めて参りたい。

また、研究成果のとりまとめにあたっては、地方公共団体の技術者が使いやすいツールの提供も含めて活用しやすい技術資料を作成するように努めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・気候変動下の都市における戦略的災害リスク低減手法の開発（事前評価）

（評価時課題名：気候変動下の災害リスク情報に基づく低リスク社会構築手法の開発）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、研究対象・目標の絞り込みを行い、気候変動下の「統合的浸水リスク評価手法の開発」「低リスク社会構築フレームの開発」「都市における水害リスク低減対策の具体的展開手順の提示」の3つを目標とし、研究計画を精査した上で、研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・リアルタイム観測・監視データを活用した高精度土砂災害発生予測手法の研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、予測手法を活用する場合のリスクコミュニケーションの充実を図るため、過去の履歴データから基準値の妥当性を検証し、条件毎の当該手法の有効性を評価することができるよう、監視データの整理・分析手法の最適化を図りたい。また、関係機関と連携して、必要となる監視データの蓄積や知見のデータベース化の実効性を確認しつつ、研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成 26 年度第 2 回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

・海上輸送の構造変化に対応したコンテナ航路網予測手法の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、コンテナ航路網予測をはじめとする国際海上コンテナ輸送に関わる国内外の既存の研究や最新の動向などを十分にレビューし効率的に研究を進めるとともに、海上輸送を取り巻くリスクやアジア需要の増大をはじめとする様々な視点からコンテナ航路網予測に影響を及ぼす各種の要因を検討し、その重要度も勘案してコンテナ航路網予測手法を開発して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成 26 年度第 3 回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

・みどりを利用した都市の熱的環境改善による低炭素都市づくりの評価手法の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたってはヒートアイランド緩和効果の定量化と費用対効果の比較等、ベンチマークの明確化に留意しつつ進めることとしたい。また、本研究による技術開発成果を地方自治体が活用できるよう、マニュアルの構成の工夫等に留意した上で、進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた樹木の成長による影響や、市民参画型緑化を助長する研究展開等の事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・共同住宅等における災害時の高齢者・障がい者に向けた避難支援技術の評価基準の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、既存ストックの規模や用途などの多様性について整理しアウトカムを明確にした上で、その避難技術の適用範囲を定め評価基準の開発を進めて参りたい。また、団地の自治会組織などの支援体制などソフト面における対応についても検討の範囲として捉え、居住者の構成やコミュニティ組織などのタイプに応じて事例分析を進め、研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・地震誘発火災を被った建築物の安全性・再使用性評価法に関する研究（事前評価）

地震誘発火災の様態や建築物に対する被害は多様であるが、評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、以下のとおり、焦点を絞って進めて参りたい。

- ・火災の様態については、基本的に、地震動の揺れに伴い発生する直接的な火災を対象とする。
- ・建築物の種類については、被災直後の安全確保の必要性及び復興における重要度等を考慮して用途の絞り込みを行う。
- ・評価・修復技術については、余震に対する危険性の回避、および、耐火性能の回復を第一に考え、主として主要構造部を対象とする。

これら以外についても、必要に応じて対象とするほか、その他のご指摘いただいた事項についても、十分留意して研究を進めて参りたい。